

設立総会開かれる

3月19日(日)下関深坂さくら友の会は、深坂自然の森、森の家で設立総会を開きました。桜の蕾はまだ固く、小寒い朝でしたが100名あまりの方が出席されました。総会は午前10時に始まり、11時には和やかな雰囲気の中で無事終了。設立準備委員会の提案通りに会則が承認され、下関深坂さくら友の会は設立されました。

会員数(4月24日現在)

団体	14
個人会員	179
賛助会員	340



世話人さん勉強会

4月9日(日)午前9時から、森の家で世話人さん志願者を募り勉強会をしました。参加者27名。テーマは天狗巣病対策とさくらの木を固縛する方法について学びました。

垣根結びは、簡単そうですが、実際に実技指導を受けないとなかなか図を見てもわかりません。一度習っても使わないとすぐ忘れてしまいます。

結び方について書いたものがあれば実際にやってみてください。



天狗巣病

かびの胞子によって伝播する病気で、これにかかると小枝が少し太くなり、その部分から細かい多数の枝分かれをします。遠くから見ると、その部分が枝が混み合い、何かの巣のように見えるのでこの名があります。病気の枝は、葉が早く出て花が咲きません。そのため、見栄えが悪くなり、放置すると全体が枯れることもあります。

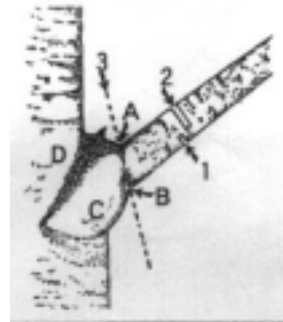
今のところ病気を治す方法はなく罹患した枝を切除するしかありません。また切除した枝は直ちに焼却してかびの胞子が飛散しないようにしなければなりません。

今のところ病気を治す方法はなく罹患した枝を切除するしかありません。また切除した枝は直ちに焼却してかびの胞子が飛散しないようにしなければなりません。

資料

枝の切除

資料



枝を切るとき、ブランチカラーを大切にすることを学びました。ブランチカラーは太い枝の根元の膨らんだ部分(C)のことで、ここには枝が切られたあとの傷口を塞ぐ保護帯と養分を多く含んでいます。

ブランチカラーを残して切ることが大切です。

1に切り込みを入れ枝が裂けないようにして2から切断します。更に枝の部分を残さないようにA-Bにそって3で切断します。

傷口にはトップジンM(ペースト、水和剤)やカルスメイトなどを塗り癒合を促進し腐朽菌侵入を防ぐようにします。

名歌に見る桜

世の中に絶えて桜のなかりせば春の心はのどけからまし
平安初期の歌人 在原業平(825~880)

あすありと思う心の仇桜夜半に嵐の吹かぬものは
鎌倉初期の僧・親鸞(1173~1262)

敷島の大和心を人間はば朝日に匂う山桜花

江戸中期の国学者 本居宣長(1730~1801)

花の季節はあっという間に過ぎてしまいましたが、あなたの心に浮かんだ名歌はいずれだったのでしょうか。

「絶えて桜のなかりせば」と、「明日ありと思う心の仇桜」はよく引用されますが、「敷島の大和心」はいささか格調が高く難解とされています。日本人の持つやさしく、やわらいだ心情を歌ったとするものもありますが、これは宣長自身の信条を歌ったもので、深山にあって誰も見る人が無くとも、朝日を浴びて匂うがごとく咲く山桜にたとえて、富や名声に惑わされず、ただ、ひたすらこつこつと真実を求めて生きる喜びと充実を歌ったものとする人もあります。

この時代の桜はいずれも今の山桜。中古以降では上代の梅に代わって、単に花といえば桜を指すほどになりました。今のソメイヨシノはエドヒガンとオオシマザクラの雑種です。江戸の染井村の植木屋から売り出されたのでこの名があります。(広報部上畠、野口)

本日(5月14日)の予定

下刈、蔦払い、結束、施肥 おにぎり、豚汁

次会(7月9日(日))予定

9時 森の家集合 全体作業

草取りなど かき氷またはジュースの予定

その他の予定

5月末日までに理事会、6月11日(日)10時から維持管理部会がライオンズクラブ例会場にて行われます。